

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～埋立部外周護岸（ケーソン護岸）10号函の据え付け完了～

～ 記者発表資料 ～

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路）建設工事のうち埋立部においては、埋立部外周護岸の一部となる「ケーソン」と呼ばれる中空箱形状のコンクリート製大型ブロックを7月18日（金）より据え付けを開始し、今年度予定していた全16函のうちの10函について、7月31日（木）に据え付けを無事完了した。

今回の据え付け箇所は、D滑走路進入灯橋梁の取付部護岸（延長100m、護岸水深A.P. 8.00m^{*1}）に全5函のケーソン（幅11.5m、長さ20.0m、高さ11.1m、重量約1,500t）を据え付けるとともに、物資搬出入のための護岸部（延長220m、岸壁水深A.P. 8.00m）の全11函のうち、作業船の出入り口（開口部）を除く計5函のケーソン（幅16.0m、長さ20.0m、高さ12.5m、重量約2,100t）を据え付けた。開口部に据え付け予定の残りの6函については、来年度早々に製作し、同年7月過ぎに据え付けることとしている。

据え付けにあたっては、天候にも恵まれ、2週間という短期間で完了した。引き続き、ケーソンの中空部に中詰め材を投入して安定させ、8月中旬には中空部の上部にコンクリートを打設して完成させる予定。

今後は、埋立部外周護岸のうち、傾斜堤護岸である捨石マウンドの施工を急ピッチで進め、10月を目途として早期に護岸（延長約4,500m）を概成^{*2}させる。

*1 A.P. : 海面からの高さを表す基準面の記号の1つであり、荒川工事基準面（Arakawa Peil）の略で、T. P. 下1. 13 4mが0位となっています。

*2 護岸概成：工船用船舶の出入り用に一部、護岸開口部（沖側傾斜堤部300m、ケーソン岸壁部120m）を残した形状。

平成20年8月4日（月）

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
都庁記者クラブ	千葉県政記者クラブ	東京航空記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室
担当 ^{うえはら}上原・^{はらだ}原田
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階
電話 03-5756-6577
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

ケーソン据え付け状況

傾斜堤護岸

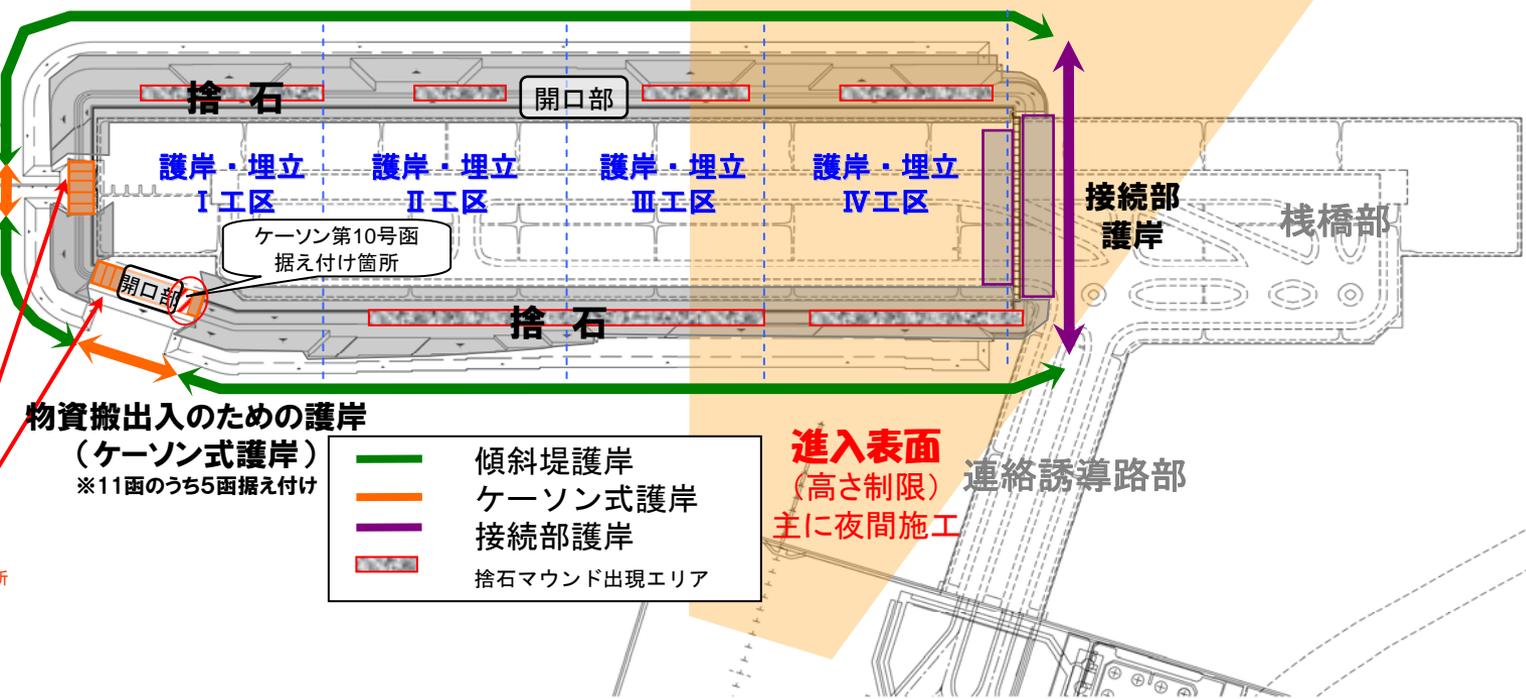
進入灯橋梁取付部護岸
(ケーソン式護岸)
※5函全て据え付け



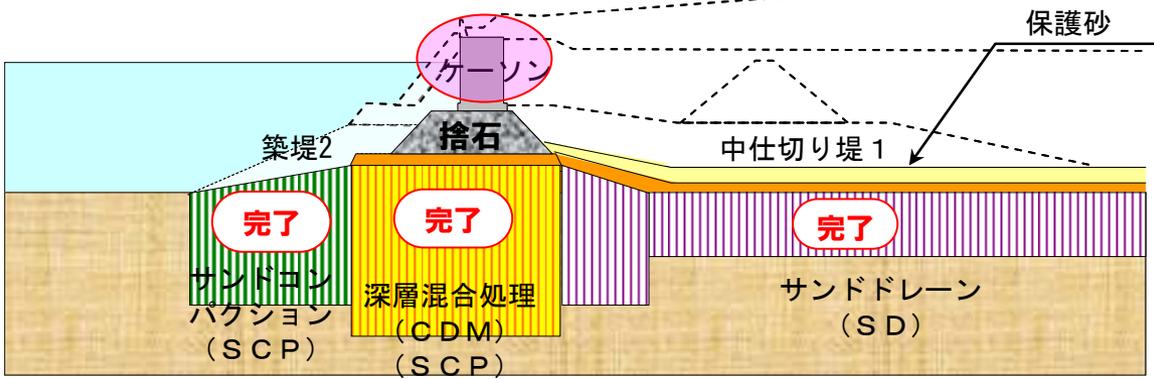
物資搬出入のための護岸
(ケーソン式護岸)
※11函のうち5函据え付け

- 傾斜堤護岸
- ケーソン式護岸
- 接続部護岸
- 捨石マウンド出現エリア

進入表面
(高さ制限)
主に夜間施工



ケーソン式護岸 標準断面



完成イメージパース (埋立部全景)

進入灯橋梁取付部護岸



ケーソン製作・据え付け状況



物資搬出入のための護岸

